

APU国内学生保護者会 2022年度 オンライン懇談会

アジア太平洋学部(APS)学部長

佐藤 洋一郎

2022年10月22日 (土)

APSの学修分野

国際関係

アジア太平洋地域の未来のために、戦略マインドとリーダーシップを身につける

紛争解決・平和構築について考察を深め、国際問題の解決に取り組んでいける力を養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解し、政策志向型の学びを通して批判的思考を身につけます。

環境・開発

持続可能な社会をめざして、国際開発協力のあるべき方向性を探究する

アジア太平洋地域の将来を考えるには、環境資源への理解が不可欠です。経済優先の開発が環境問題などを引き起こしている今、経済発展と環境保全の両面から持続可能な開発について考えます。

文化・社会・メディア

社会を多角的にとらえる目を養い、アジア太平洋地域の諸問題への理解を深める

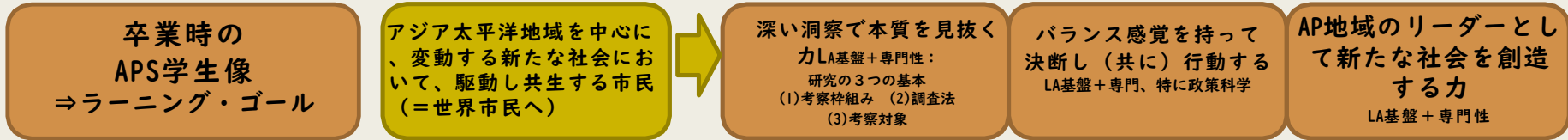
アジア太平洋地域の文化・社会・メディアを学び、この地域が抱える諸問題を考えます。多文化社会の理解を通じて世界を広く捉える視点と、地域をさまざまな角度から複眼的に見る目を養います。

観光学

国際基準の「もてなしの心」を学び、観光産業を通じた地域発展について考える

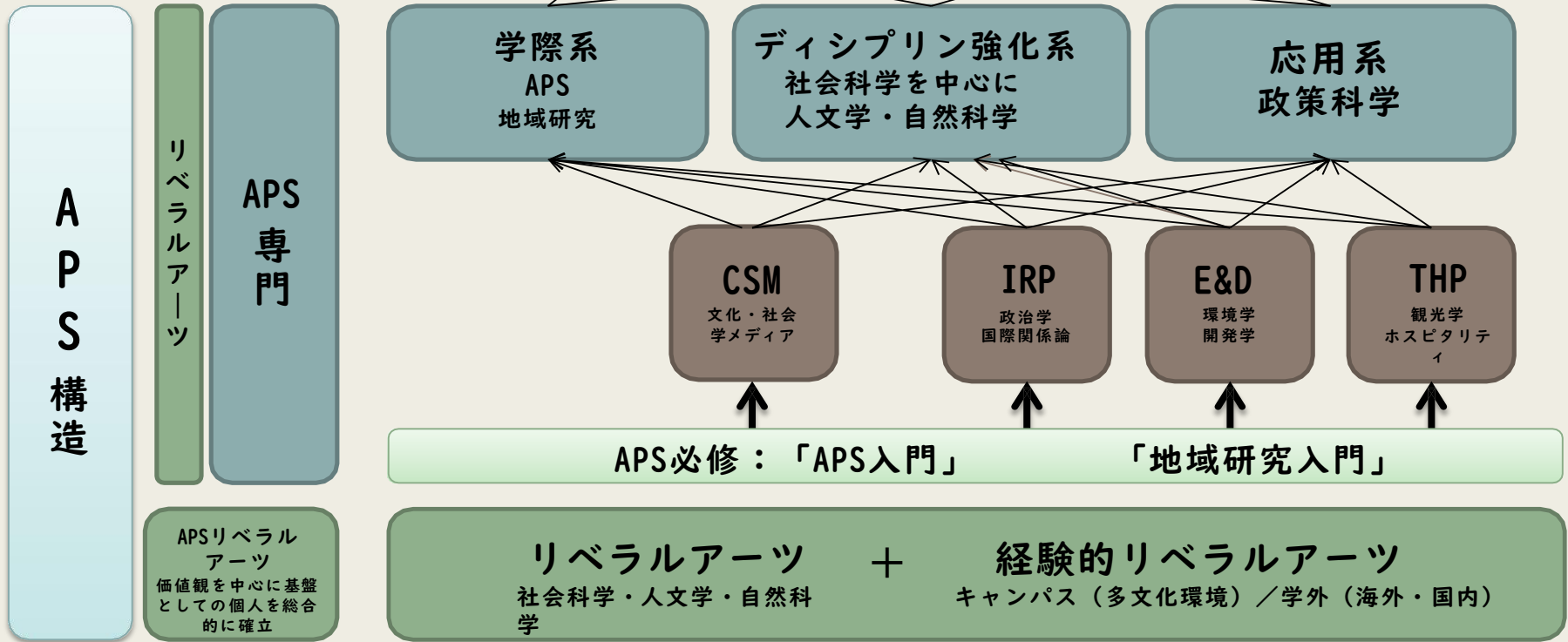
ツーリズム（観光）を通じた文化交流、地域・産業振興は、アジア太平洋地域の発展にとって重要なテーマ。文化、社会、地域といった視点と、ホスピタリティ（もてなし）を学びます。

APS学部構造：4年間で〈成長する〉学びの質保証と高度化に向けて



〈成長〉のための卒業要件 ⇒AOL

APSクラスター30単位卒業
クラスター科目(30) or
クラスター科目(24)+卒業研究I・II(6)など



2023からのAPS

2023年度以降、APSの学修分野に新たな「グローバル経済」が加わり、既存の「国際関係」、「文化・社会・メディア」とともに3つの学修分野を構成します。グローバル経済ではグローバル化したアジア太平洋地域を経済学から解明することを目的とし、グローバル共生と未来志向の観点を持ち、全ての地域・世代の人々が幸せになれる世界を目指します。

グローバル経済を加えた新たなAPSでは「経済学」「政治学」「社会学」の社会科学的アプローチを用いて、アジア太平洋地域を起点に世界の平和と相互理解について学びを深めます。社会科学の知識を基盤とし、「ジャーナリズム」、「ジェンダー」、「安全保障」や「格差社会」といった学生自身の興味・関心に基づき学びの個別最適化を実現し、独自の研究を可能としています。

「政治学」「社会学」「経済学」を横断的に学ぶ、3つの学修分野



国際関係

国際紛争や人権問題、環境破壊など国境を超えた国際的な課題を、法律・政治・経済など多様な視点で捉え、解決法を探ります。



文化・社会・メディア

多様なアジア太平洋地域において、文化・社会・メディアのミクロ・マクロの両視点から、新たな共生のあり方を探求していきます。



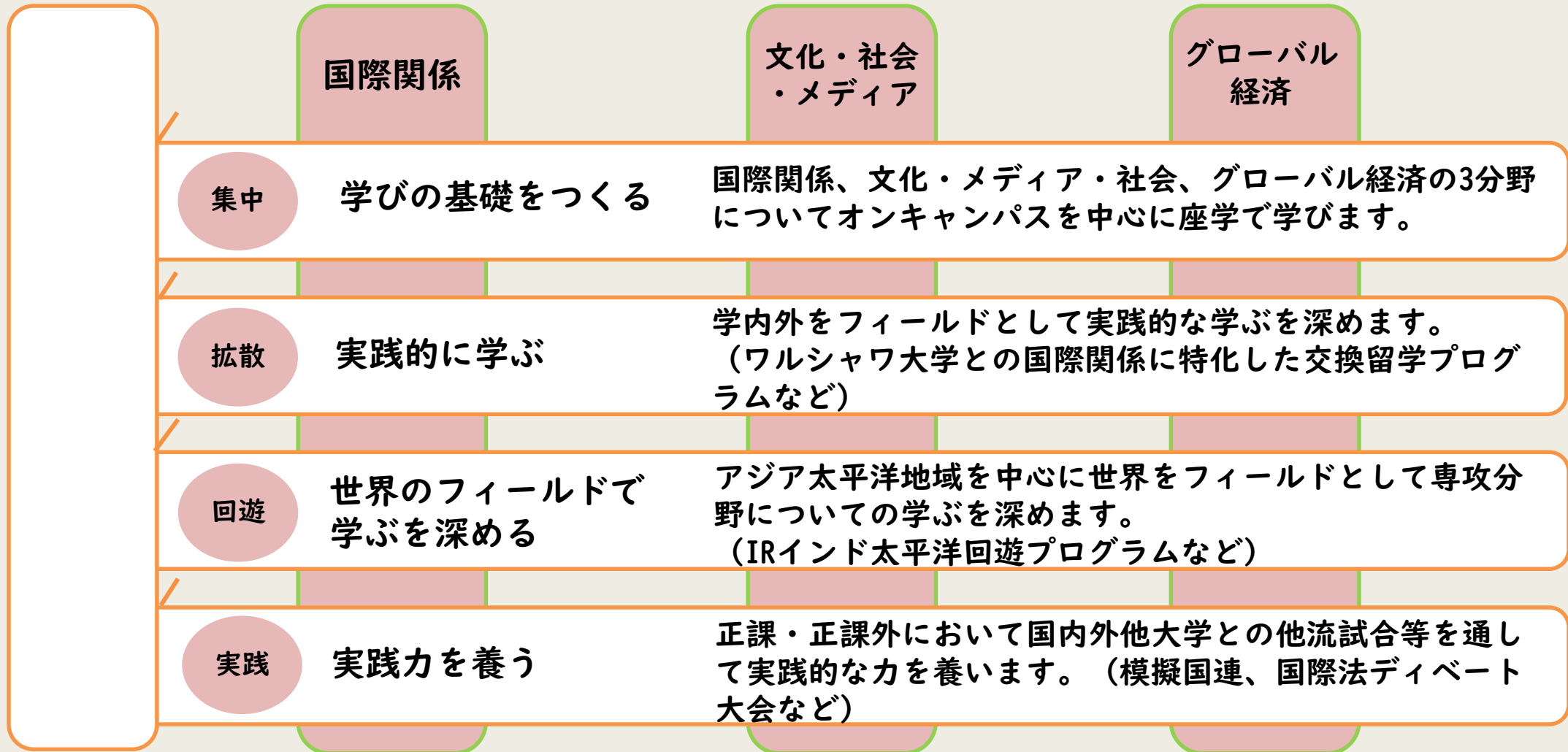
グローバル経済

グローバル化したアジア太平洋地域において、全ての地域・人々が幸福に生きられる方法を、経済学の視点から解明していきます。

2023からのAPS

学びを最大限高める4つの学びのサイクル

APSは、「国際関係（IR）」「文化・社会・メディア（CSM）」「グローバル経済（GE）」の3つの学修分野における学びを最大限に高めるため、「集中」「拡散」「回遊」「実践」の4つの学びのかたちを設けます。



卒業研究Ⅱ（必須）

卒業論文・レポート

百人百様の確実な専門性の獲得

4年間の学び
の集大成

専門演習
・卒業研究

4年間の学びの集大成としてゼミを必須化
学生はサブディシプリンを横断し、自分のテーマに合ったゼミを選ぶ。
サブディシプリンの新しい融合、結びつきは、学生たちの学びの個別最適化を実現し、それぞれ独自の研究を可能にする。

3つの軸となる社会科学の学問分野を入門科目として必須化し、基礎をしっかりと学ぶ。

4回生

3回生

2回生

1回生

卒業研究Ⅰ

感性情報学

AI

環境

グローバル
ゼーション

政治

国際法

ジェンダー

国際関係

移民問題

人類

外交

アニメ
/漫画

規範

文化

民主主義

多文化社会

言語

国民国家

貧困問題

ポピュラー
文化

経済

歴史

開発

自由論

労働論

安全保障

ジャーナリズム

国際協力

格差社会

平和

社会

自然との
共生

外交政策

専門演習

文化・社会
・メディア

国際関係

グローバル
経済